

6年 地学基礎演習 単位数：1単位

教科書：地学基礎 改訂版（啓林館）

副教材：八訂版 スクエア最新図説地学（第一学習社）、センサー地学基礎 改訂版（啓林館）、

大学入学共通テスト対策 チェック&演習 地学基礎（数研出版）、

2022 共通テスト対策 【実力完成】直前演習 地学基礎（進研学参）

学習目標

本校の地学科の目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。
- ・FWの基礎となる思考力・観察力・探究力を養成する。
- ・目的意識をもって観察・実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。
- ・地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
- ・地学を通して、技術・工学にも応用できる基礎力を身に付ける。（STEAM教育）

第6学年の目標

- ・地学やその現象に対する関心を高めつつ、問題を見出し意欲的に探究する活動を通して解決する方法を見出す。
- ・地球とそれを取り巻く自然の現象を調べる活動を通して探究方法を身につけるとともに、自然環境を保持し、生命を尊重する態度を養う。
- ・問題演習を通じて地学の現象、原理、法則、概念等に理解を深めるとともに、自己の進路実現に対応できる能力を身につける。
- ・現代の研究についても扱い、最先端の地学と日常生活・現代社会との関連についても気づく。
- ・大学入試共通テストの地学基礎に対応できる学力を身に付ける。

学習方法

- ・問題演習は、授業中・家庭学習を問わず積極的に行う。間違えた場合には、必ずすぐに疑問点を解決するように努力すること。
- ・限られた時間を有効に使うために、集中して取り組むこと。
- ・定期考査、問題集用ノート、課題などで、自己評価を行う。（評価と反省）

評価の観点・方法

観点① 地学現象への 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。
観点② 科学的な 思考・見方・考え方	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観点③ 実験・観察の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。
観点④ 地球科学の 基本的知識や理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

評価の方法 \ 観点	①	②	③	④
学習状況観察	○		○	
提出物（ノート、課題など）	◎	○	◎	
定期試験		◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・学習内容を理解する。 ・定期考査、小テストで6割以上の得点をとる。 ・共通テストレベルの模試で、7割以上の得点を取る。	単元ごとの演習 『チェック&演習 地学基礎』 序 編 惑星としての地球 第1編 活動する地球 第2編 移り変わる地球 第3編 大気と海洋 第4編 地球の環境 第5編 宇宙の構成	Scienceに加え、Technology（技術）、Engineering（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。
2 学 期	・授業で真剣に問題演習に取り組む。 ・定期考査、小テストで7割以上の得点をとる。 ・共通テストレベルの模試で、8割以上の得点を取る。	総合問題演習 『共通テスト対策 直前演習 地学基礎』	Scienceに加え、Technology（技術）、Engineering（工学）のトピックスも扱い、最先端の内容を学ぶ。
3 学 期	・小テストで8割以上の得点をとる。 ・大学入学共通テストで8割以上の得点をとる。	総合問題演習 『共通テスト対策 直前演習 地学基礎』	

学習のアドバイス

- ・既習事項の問題演習が中心となるので、忘れてしまった分野がある者は『センサー地学基礎』を解き直して早めに復習しよう。
- ・地学基礎の学習は、基礎基本を徹底することが重要。難しい問題を解くために何時間もかけるより、まずは易しい問題を完璧にすべく努力をする方が良い。基礎基本を馬鹿にせず、丁寧に取り組んでみよう。
- ・地学基礎の学習内容は非常に幅広い。メディア等で触れたキーワードも調べておくとよい。